

1. 開会(区)
2. 挨拶(区:環境まちづくり部部长)
3. 会長の挨拶
4. 議事
 - (1) 議事要旨について(区)
 - (2) 東郷元帥記念公園の改修について(事務局)
 - (3) 意見交換
5. その他(区)
6. 閉会(区)

<意見交換についての議事メモ>

会長

・下段の広場を広げる A 案と、植栽を大事にして、東郷坂側に歩く方に提供する B 案の 2 つの提案が挙げられた。今日の段階では、使い手からして、どちらが良いかというご意見を頂きたい。あるいはこれが分からないということがあれば、追加のご説明を頂きたい。ご質問もお願いしたい。

委員

・A 案と B 案について、桜の木はものすごく大きくなるので、下段の広場の桜の木は置きたくない。上段の広場にもお花見できる場所があるので、下段は子供たちがボール投げとか自由に使える広い場所を残してあげたい。お花見シーズンはこの下でみんな座って何かしたいと思う。そうすると、子供たちが遊べなくなる。

委員

・A 案の下段の広場がまるつきり広くなってしまっている。今の時期、日差しが強く、まるつきりお休みする場所がない。ただいたずらに広く木もない空間を作るのは反対。
・一昨日たまたま玉虫を見つけたが、古い広葉樹が結構ある。千代田区の他の公園でも、外濠公園とか、靖国神社などで玉虫が見つかったが、都心部でなかなか見つからない。ある程度はこうした木を残すべきだと思う。

会長

・現段階では、既存の木のどこを残してどこを植え替えるかはこれからの段階。貴重な動植物や昆虫がいると思うので、そこに気をつけていくことはご指摘として承っておく。

委員

・階段のような段々が多い。乳母車や車いすの利用者についてはどのように考えているか。

事務局

・乳母車や車いすの利用については、基本的な考え方としては、二七通り口から番町通り口までの東郷坂の脇の道路にスロープを設け、バリアフリー化された主の園路から各広場の中にアクセスできるようになっている。

委員

・東郷坂口からまっすぐ階段があるから、右のほうへ行って、番町通り口からアクセスする必要がある。

会長

・これは私も事前にご相談を受けたが、結局斜面に対してスロープを設けると、斜面をいじめることになって斜面が使いづらくなる。もちろんこのルートがとても重要だということであれば、こういうルートも当然確保することも考えられる。今回番町通り口からアクセスできるスロープを新たに設けたので、下段の広場に入る方は、たぶんこっちから来ると考えられる。

委員

・それは違う。二七通りと東郷坂の交差点のところから入って、若い方は小学校寄りの階段を下りるが、足の悪い方は東郷坂寄りの道をずっと歩いてきている。それで今のプールの横を通り抜けて、今のスロープのついたところを結構通っている。これだと不都合だと思う。九段小学校側の階段は全く年寄りには使い物にならない。

会長

・これは少し考えさせていただきたい。

委員

・東郷坂に沿う園路のスロープの幅は何mくらいか。

事務局

・現在は3mを予定している。

委員

・気になっているのは、ここを自転車がザーッと走ってしまえる。子どもは面白くてやってしまいそうな感じがする。あと一つ気になっているのは、スケートボードをやるような人たちが出てこないかなどというのが気になっている。そうされると非常に危険。

・段々の広場とスロープの間のコンクリートの段差が危険ではないのかなど。A案B案ともに段差となっている。

事務局

・自転車の件については、ご指摘の通り。それについては、まだ十分な検討はできていない。その対応については、坂の前の方に使いにくいかもしれないが、車止めをつけますよとか、具体的な対策については、皆さんと議論を重ねながら、今後詰めていければと考えている。内部での議論の中で、自転車の通り抜け対策が必要だという話があった。その中にデザイン的な工夫として、少し分りにくいですがB案はまっすぐ通り抜けにくくするために、少し園路をずらしており、試案としてこの絵のほうには入っている。

・何とかそのデザインと使い方と安全安心というのが両立できるような、そういったところが皆さんと議論できていければと考えている。

・段差については、安全性を確保するためにはこの場所には柵が必要といったご意見をいただければと考えている。

会長

・ここに柵が必要というところはなかなか細かいところなので、これはこの後まだ議論ができると思われる。

・とにかくA案のように広場を広げていくのか、それともB案のように少し段差を細かく区切っていくのか。あるいは先ほどご指摘があったように、ここにスロープがなければまずいというようなご意見を頂きたい。全体の盤の作り方をどうするかということについて、今日できればこの場で方向性を決めさせていただき、気になることについては宿題ということで引き取らせていただく。

・柵を無くしてくださいと言ったのは実は私。全部バーンって作ってしまうとがんじがらめになってしまって、せっかく今いろいろ工夫して使っているのが残念な感じになってしまう。

委員

・B 案について、ウッドデッキと段差があって芝生があってという、すごくおしゃれで最近よく見る公園で素敵だなとは思いますが、今現在東郷公園を使っている人たちの中では、ここはおそらくそのちょっとした休憩スペースに使う人がいないのではないかと思う。このままでは段差も少ない、中途半端な段差なので、ここに腰かけてコーヒーを飲んだり、お茶を飲んだり、ランチをしたりする人もそういない。ただ単純に通り道が広がるだけ。だったらむしろ A 案のように広げて、そのせっかくできた急な斜面のところに、ウッドデッキのもっとたくさんの段差をバーンとつけて、スタンドみたいにしたら、大人はそこに腰かけて子どもを見守っていただける。むしろそちらのほうが休憩できると思う。

委員

・B案のほうで、下段の広場からみて一番初めのウッドデッキの階段が始まっている場所がある。下段の広場の広さというのは今の広さよりも減ってしまう感じになるのか。プールというのはどこまでか。

事務局

・ウッドデッキプラスあずまやが現在と同じ場所になっている。広場は現在と同じ。整備された当初からのスクエアのかたち、広さは確保した状態になっている。今のこの地形のかたちを生かして、広くはならないが、狭くはならない。現在と同じ広さは確保されている。

会長

・桜の木は残してあり、桜の下からウッドデッキになっている。

委員

・私たちの保育園がすごく小さいもので、すごくだっぴろいと子どもたちが散ってしまう。こういう段差ではなくても、区切りという意味ではこういうスペースがあってもいいのかなというふうに思った。区切って遊べるというところでは、工夫して遊びやすいと思った。

会長

・前日も、中段の一番端っこの柵で、ここまでしか行っちゃだめというふうに使われているという話を聞いた。そういうスペースを区切って遊ぶことを気にしてらっしゃる。

会長

・いろんなご意見を頂き、順番に申し上げますと…

・中段に桜はあるから、下段の桜は必要ない。

・下段の広場は、A 案の方は植栽を加えないとだだっ広すぎて日差しが強く、日陰が欲しい。

・貴重な昆虫もいるので、今ある植生も十分大事にしないとまずい。

・段々が多い時にどうベビーカーとか車いすの方に対応するのか、もう少し配慮があってもいいんじゃないか。

・それに関連して、今動線として、東郷坂口から入って、下段にすぐ抜けるバリアフリーの斜路が一つ必要。

・バリアフリーの園路を作ると、自転車やスケートボード、そういうものがスピードを出してくることがある。それを自転車や通れないように、スケートボードをやめてもらうようにすると、結局車いすも通れなくなる。最初からがちがちやりすぎると、せっかくバリアフリーなのに歩きづらいという本末転倒なことが起こる。方策としては車止めというお話があるが、少し慎重に考えていきたい。

・段々の広場、これはお示している事例の写真が都会すぎる。南池袋公園、コレド日本橋アネックスは本当に都会で、お隣でコーヒーを買って休みたいスペースになっているが、東郷公園はそういう場所ではない。きちんと使い方をもう少し詰めたほうが良いんじゃないか。

・この後、色々アイデアがでてきて、A 案みたいに下段の広場とメインの園路の間にスタンド的に作って、階段を作ったほうが良い。そのほうが見通しが利くというご意見もある。是非検討していただければと思う。

・下段の広場を広く使いたいという意見と、それから小さい子にとってはある程度スペースを区切りたいという話がある。どう両立させるかなかなか難しい。ある程度まとまった空間として、子どもたちにはここまでというような空間も創りたいという話。もしかしたらそれは真ん中にスロープをどう確保するかという話と一緒に考えられる可能性がある。

・皆さんのご意見は割と A 案に向いている。A 案を少し改良して、B 案的な要素を含みながら A 案を中心に検討を進めていくというふうに受け取った。そういったかたちでいったん事務局に戻して、また汗をかいて考えてもらうというようなことで進めさせていただこうと思う。

・バリアフリーのルートについては、今は下からしか入れないわけではないが、真ん中から通る道も作るということで少し検討させていただきたい。

委員

・今は真ん中からは入れる。この図面で見ると、どちらも真ん中からは入れない。

会長

・そこは考えてもらう。現状でいうと、斜面をどういうふうに広く使ってもらおうかということを中心に考えてもらったというところもあるので、私の責任でもある。真ん中から下段にどう足の悪い方でも入れるようにということは、与条件として実現するようにということで議論をさせていただいて、次回にはご提案する。次回以降にきちんとそこについては改善したものをお示しすることにした。

・次回はこれ以外の部分についても詳しくやっていきたい。それから上段についても追ってご提案をさせていただきたい。

次回日程

・8月9日の18時30分とする。

閉会